

議事録

平成19年度 第56回 教育研究審議会議事要録

日 時 平成19年8月8日（水）13:30～15:30

場 所 北方キャンパス本館 E701会議室

出席者 <委員> 矢田学長、晴山副学長、近藤副学長、国武副学長、羽田野事務局長、板谷外国語学部長、迎経済学部長、赤塚文学部長、三宅法学部長、松藤国際環境工学部長、谷村社会システム研究科長、齋藤マネジメント研究科長、柳井学生部長、中野教務部長、棚次学術情報総合センター長、伊野入試センター長、前田評価室副室長

配付資料

- 1-1 教員採用選考報告書（国際環境工学部）
- 1-2 教員採用申請書（地域創生学群設置準備委員会）
- 2 公的研究費の不正防止対策
- 3 異文化言語（英語）教育担当教員（学内応募）採用選考報告書
- 4 地域創生学群設置スケジュール
- 5 平成19年度研究委員会委員名簿（案）
- 6 オープンキャンパス2007実施報告
- 7 平成19年度ガイダンスIN鹿児島実施報告
- 8 北九州市立大学教員海外出張・研修報告書

（冒頭、第55回教育研究審議会議事録（案）について確認）

第1号 教員の採用について

* 資料1-1のとおり、国際環境工学部情報メディア工学科10月採用人事（通信・メディア分野）について、選考委員会から採用候補者（山崎 進氏）の選考結果の報告がなされ、同報告に基づき採用候補者の採用について提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

* 資料1-2のとおり、4月採用人事について、地域創生学群設置準備委員会からの申請に基づき、「心理療法論及びカウンセリング論」を担当する専任教員1名及び「市民活動概論及び市民活動実践論」を担当する専任教員1名の採用を提案。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

（提案の承認の後、それぞれ選考委員会を設置）

議事録

報告

- ① 公的外部資金の不正防止について、資料2のとおり報告があった。
 - 民間資金への準用も視野に入れ、規程や体制を整備した方がよいのではないか。
 - 公的研究費は税金を原資とするが故に、その管理・監査にも厳しさが求められる。民間資金についても不正防止は当然であるが、一概に準用できない部分もあると考える。
- ② 異文化言語（英語）教育担当教員（学内公募）採用選考報告について、資料3のとおり報告があった。
- ③ 地域創生学群設置スケジュールについて、資料4のとおり報告があった。
- ④ 研究委員会の委員構成について、資料5のとおり報告があった。
- ⑤ オープンキャンパス2007の実施結果について、資料6のとおり報告があった。
- ⑥ ガイダンスIN鹿児島2007の実施結果について、資料7のとおり報告があった。
 - 多くの教員が従事したわりに参加者が90名ではコストパフォーマンスが悪い。積極的なPR等が必要ではないか。
 - 細かな質問に対応するためには、学科ごとに教員が参加する必要がある。来年度は効果的な広報媒体の活用や開催場所・開催日程の工夫を行い、参加者増に努めたい。
- ⑦ 教員の海外出張について、資料8のとおり報告があった。
- ⑧ 次回の審議会を9月4日（火）に開催する予定である旨、報告があった。